

令和4年度 入札監視委員会（第1回）議事概要

南関東防衛局

開催日及び場所	令和4年6月29日（水） 1400～1600 横浜第2合同庁舎 低層棟1階 共用第4会議室		
委員 (◎:委員長)	天野 康代（弁護士） 梅村 靖弘（大学教授） 後藤 由紀子（公認会計士） ◎細田 孝一（大学教授） (敬称略:五十音順)		
審議対象期間	令和4年1月1日～令和4年3月31日		
審議対象件数	55件		
1. 入札状況について（入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について）			
抽出案件	総件数 7件	(審議概要) ・契約状況、指名停止措置状況及び低入札価格調査等について報告 ・抽出案件の概要説明	
建設工事	一般競争(政府調達協定対象)		2件
	一般競争(政府調達協定対象外)		3件
	企画競争方式		0件
	随意契約方式		1件
建設コンサルタント業務等	1件		
	意見・質問	回答	
	<p>① 根岸住宅地区（3）既設建物等解体工事（3工区） （一般競争入札方式(政府調達協定対象)）</p> <p>かなり無効が多いが、無効となった理由は何か。</p> <p>そこそこの会社で総合評価落札方式の加算点が低い者があるが、どのような部分で差が生じたと考えられ</p>	<p>調査基準価格を下回ったため、施工体制確認のための追加資料の提出を求めたが、提出ができない旨の回答があったことから、無効としている。</p> <p>技術提案と工事全般の施工計画で重複した提案をした者より、工事全般の施工計画として全体計画を提案</p>	

<p>るか。</p> <p>設計図書に明記していないアスベストが現場で発見された時の処理は技術提案に入っているのか。</p> <p>新たにアスベストが見つかった場合の処理は別途協議するとのことだが、入札公告等に条件として明示されてあるのか。</p> <p>予定価格超過者が多いのは、アスベスト処理費用を見込んだためとも思われるが、そうでないなら何故か。</p> <p>ワークライフバランスの加点方法を教えて頂きたい。</p>	<p>した者を高く評価している。</p> <p>入っていない。 現場で新たにアスベストが発見された時は、別途協議し精算を行う。</p> <p>設計時に確認済みの部分については、明示しており、工事開始後、調査を実施し、改めて発見されたアスベストについては、協議して変更契約となる旨が明らかにされている。</p> <p>当局では公共工事積算基準及び複数社による見積徴収により予定価格を算定しているが、どういう壊し方をするか、どのように効率的に壊すかという部分で各社の見積に差があったため入札においてもそのような差が出たものと思われる。</p> <p>3つのうちどれか1つ認定があると1点加点される。</p>
<p><b>② 横須賀米軍（3）汚水処理施設管理棟（920）新設土木その他工事（一般競争入札方式(政府調達協定対象)）</b></p> <p>応札者が少なかった理由は何だと考えられるか。</p> <p>管理棟を別発注しなかった理由は何か。</p> <p>土木工事と建築工事の割合はどのくらいか。</p> <p>仕様書にプラントメーカーは指定しているのか。</p>	<p>土木工事である汚水処理施設の他にその他工事として建築工事・設備工事の管理棟新設工事が含まれていたことで敬遠されたのかもしれないと考えている。</p> <p>また、既存の汚水処理施設を運用しながらの建設ということも、敬遠された一因ではないかと考えている。</p> <p>米軍の運用上、汚水処理施設と管理棟は一体不可分のため一括発注としている。</p> <p>土木工事が全体の9割を占めている。</p> <p>性能要求としているため、メーカー名は記載していない。</p>

<p><b>③ 厚木米軍（３）雨水排水（７５０）整備土木工事 （一般競争入札方式(政府調達協定対象外)</b></p> <p>貯留管としての機能はあるのか。 また、排水は雨水のみか。</p> <p>応札者が多いのはやり易い工事だからか。</p> <p>３者が同額だが問題ないのか。</p>	<p>貯留としての機能はなく、雨水排水のみとしている。</p> <p>工法的には地下水の影響など特に容易な工事ということではないので何故これだけ応募者が多いかは分からない。</p> <p>単価や経費等も３者まちまちであり、たまたま同額になったものと考えている。</p>
<p><b>④ 横須賀（３）宿舎改修建築工事 （その１） （一般競争入札方式(政府調達協定対象)</b></p> <p>６者も無効となった理由は何か。</p> <p>施工体制確認の際に提出する追加資料とは具体的にどのようなものか。</p> <p>このような資料を提出できなくて辞退するのか。</p>	<p>施工体制確認のため追加資料を求めたところ辞退されたため。</p> <p>下請予定業者等一覧、資材購入予定先一覧及び労務者の確保計画等の資料を提出するよう求めている。</p> <p>資料作成に労力を費やしても落札者となる可能性は低いと判断して、辞退を申し出たと思われる。</p> <p>本改修工事は（その２）（その３）も実施しており、（その１）で低入調査を行ってまで受注しなくても、これらの工事で受注可能性があるため辞退したのかもしれない。</p>
<p><b>⑤ 御前崎（３）鉄塔解体工事 （一般競争入札方式(政府調達協定対象外)</b></p> <p>低入札価格調査結果調書の「入札価格の適切性」において、「当局の積算価格と入札価格を比較したところ、必要な経費は適切に計上されており、経費の低減根拠も確認できた」とのことであるが、具体的に教えてもらいたい。</p>	<p>自社施工による解体工事であること、発生材の処理についても長年の取引があり、実績のある価格を確認したことから、施工可能な金額であると判断した。</p>

	<p>⑥ 鶴見米軍（３）消防署（７１６） 新設建築追加工事 （随意契約方式）</p> <p>過去の審議で瑕疵担保責任をつけた一般競争入札事案があったが、今回は随意契約となっており、入札方式の統一は図られているのか。</p>	<p>本来一体不可分の工事をどうしても予算を分割してしか取れない場合は、前工事に続き後工事を発注することとなるが、①工事の全体像を提示、②前工事の落札率を後工事に継承、③随意契約に移る前に条件を示して１か月間公示し、参加希望業者がいないことを確認の三項目を条件として、原則随意契約で実施することを基本としている。</p> <p>ただし、当初は予算内で完成できると考えていた工事が、途中で予算不足となり、残工事を発注せざる負えない場合には、一般競争入札で実施する場合もある。</p>
	<p>⑦ 横須賀外（３補）病院新設等土質調査 （一般競争入札方式（政府調達協定対象外））</p> <p>土質調査の場合は落札率が低くなる傾向があるが、予定価格は適正なのか。</p>	<p>予定価格は積算基準に基づき刊行物の単価を採用し適正に算出されているものと考えているが、同業他社も多く競争が激しいことから、各社経費等削減できるものは削減し、入札に臨んだものと思われる。</p>
<p>委員会による意見の具申又は勧告の内容</p>	<p>特に意見なし。</p>	

2. 談合疑義案件の処理状況について

談合疑義案件		総件数 0件	<p>・処理状況の報告 報告なし</p>
工事	談合情報	0件	
	点検結果疑義	0件	
業務	談合情報	0件	
	点検結果疑義	0件	
○委員からの意見・質問		意見・質問	回答

○それに対する回答等	なし。	
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし。	
3. 入札結果の事後的・統計的分析結果について		
審議概要	順位傾向の分析、落札率・応札率の分析、調査項目別の平均落札率等の分析等を行った資料を委員に配布・報告。	
○委員からの意見・質問	意見・質問	回答
○それに対する回答等	なし。	
4. 再苦情処理（再説明請求回答）		
・該当案件なし		